

# 森のニュース 1

第61回全国植樹祭を開催しました！

平成22年5月23日

(日)に、足柄森林公園丸太の森地区と秦野戸川公園地区の2ヶ所で、全国植樹祭を開催しました。さらに、県全体を全国植樹祭のステージとして、多くの県民の皆さまに参加していただけるよう、13の市町に県と市町が共同でサテライト会場を設置するなど、約8万6千人の方々にご参加いただきました。各地のサテライト会場や、雨の中にもかかわらず大会に参加いただきました皆さまに、心よりお礼申し上げます。



(天皇陛下によるお手植えの様子)

大会では、天皇皇后両陛下によるお手植えやお手播きの行事が行われ、南足柄会場にケヤキやヤマザクラ、無花粉スギなど6種のお手植えを賜りました。

お手植えされた樹木は、森づくりに対する県民運動のシンボルとして大切に管理、育成していきます。



(両陛下によるお手播きの様子)

また、秦野会場ではブナやコブシなど4種のお手播きを賜りました。

この他、音楽や映像、手話とパントマイムを組み合わせたサインマイム、元気な子ども達によるヒップホップダンスパフォーマンスなど様々なアトラクションにより、大会テーマ「森が育む あなたの心 森を育む あなたの手」に込められた、森への思いが表現されました。また、植樹行事等へのボランティア参加など、多くの県民の皆さんの協力と参加のもと、神奈川らしい大会となりました。

県内各地のサテライト会場では、全国植樹祭を体感していただけるよう、代表者や参加者による植樹を行いました。中でも川崎会場など6つの会場では、1,000本以上の大規模な植樹を行い、全体で2万本以上の植樹を行いました。



(南足柄会場の様子)

また、全国植樹祭の趣旨を理解していただけるよう、パネル展示などの情報発信を行ったほか、大会会場と各サテライト会場で、神奈川の森林が50年後にどうなっていてほしいか等、「未来へのメッセージ」を募集し、大会当日の式典アトラクションとして、2会場連携セレモニーの中で紹介しました。集められたメッセージは、大会終了後、タイムカプセルに納めて大切に保管し、50年後に開封する予定です。



(秦野会場での植樹の様子)

大会開催にあたりましては、多大なお力添えをいただき、誠にありがとうございました。今後は、全国植樹祭で高まった森への関心を継続し、「県植樹祭」などを通して、県民の皆さんと協働で森林再生の取り組みを進めてまいります。

\*お手植え、植樹の様子は神奈川新聞提供

(全国植樹祭推進課)